



## — クラブライフが心とからだと暮らしを変える —

「元気なとやま」をつくるためスポーツクラブによる生き生きとした暮らしを提案します。

日本におけるスポーツの大切さを伝え、サポートしていきます。



NPO法人富山スポーツコミュニケーションズ

## 卷頭インタビュー Interview

創立5周年の節目を迎え、新会員制度や部会制の導入など、新たなる組織の活性化を図った新生TSC。その象徴として、このたび新設された会長職に就任した池森武宣氏（株）チューリップテレビ・前社長にスポーツにかける思いを聞いた。

### 「心のコンタクトを大切に」

TSC 会長 池 森 武 宣

#### ■TSCの活動に携わったきっかけは？

佐伯（仁史TSC理事長）さんが富山県サッカー協会のJリーグスタディグループ<sup>(注)</sup>で活動しながら、TSCの設立に奔走している頃に知り合った。スポーツによるコミュニケーションを通じて社会を良くしていくとの熱意に共感し、活動を手伝い始めた。

これまで監事として側面支援してきたが、放送局経営の第一線から退いたのを機に、TSC会長職を引き受けた。若い仲間達に対し、経験を生かしてアドバイスを送っていきたいと思っている。

#### ■スポーツ歴を教えてください。

子供の頃に弱かった体を鍛えようと、先輩に誘われて富山市立奥田中学校の蹴球部に入り、高校・大学といわゆる体育会系の蹴球部（サッカー部）でプレーした。社会人になった翌年、1968年に結成された富山サッカー友の会（富山県全域の少年サッカープラス推進団体）の活動に設立当初から携わり、以来今日に至っている。

印象深いのは1974年、第4回富山県青年の船で訪れた南米諸国のこと。ブラジルではサンパウロやリオデジャネイロで、街のあちこちで昼間からボールを蹴り合う子供たちの姿があった。休みでもないのになぜ昼間から子供たちが遊んでいるのか不思議に思っていたが、学校施設が貧弱で授業が2部制になっているためだと聞いた。粗末ではあるがクラブハウスのような施設に人々が集い、ボールを蹴り、談笑する憩いの場がある。学校部活動が全盛期であった当時の日本に帰ってきて、そのギャップが非常に頭に残った。

友の会や県サッカー協会役員としての活動を通じて、（当時JFLを戦っていた）北陸電力とYKK APとの間を取り持ち、Jリーグクラブの誕生を支援した。富山におけるクラブスポーツの実現という、大きな目標を達成するための行動だった。

#### ■サッカーを通じて感じるスポーツの魅力とは？

サッカーは22人の選手がピッチでプレーをする。相手や味方の動きを瞬時に予測し、局面を開拓する協調性や創造性を培うことが必要。人数が多いほどイメージの共有は難しいが、それだけにやりがいがあり、人間の成長につながると感じる。



TAKENOBU IKEMORI

1944年生まれ。富山市出身。富山計算センター（現：インテック）を経てチューリップテレビ開局に携わる。2003年より同社代表取締役社長、2010年6月退任。同社相談役の他、富山サッカー友の会幹事長、富山県サッカー協会監事などを務める。

#### ■メディア経営者の経験から、スポーツをどう捉えますか？

放送局在任時はトップリーダーとして「人づくり」「ものづくり」「地域づくり」の三つの理念を提唱し、地域貢献のリーディングカンパニーを標榜していた。資源の乏しい日本では、科学技術振興によって国を営み、暮らしやすいまちづくりをすることが重要だと考えている。一方スポーツも、先達に学び、チームや地域の人々と共に発展していくことが望まれる。三つの理念を重ね合わせると、それぞれのゴールは非常に似ているのではないか。

#### ■富山のスポーツ、およびTSCに対する思いを聞かせてください。

富山には三つのプロスポーツがあるが、単にプロクラブを運営するだけでなく、「富山をスポーツで元気にさせる」との目標を達成する必要がある。クラブ・チーム・企業・行政それぞれが、より有効に連携する余地があるのではないか。

TSCは「スポーツに馴染んでもらう環境づくりを行う集団」と認識している。プレイヤーの視点だけでなく、直接スポーツに参加できない人たちにその面白さを伝えていく役割を担っている。地道ではあるが、TSCの理解者・ファンを増やし、ムーブメントを起こしていくべきだ。

サッカーでは、パスの出し手は「味方が走るであろう」スペースにパスを出し、受け手は「パスが来るであろう」ポイントでパスを受ける。サッカーだけでなく、スポーツや人生にとってこのような「心のコンタクト」は非常に大事なことだ。TSCが提唱する「スポーツによって育まれるコミュニケーション」の実現のため、これからもパートナー会員・企業の皆さんとの絆を深めていきたい。

注：Jリーグスタディグループ…富山県サッカー協会が2005年、県民Jリーグクラブの発足の可能性を探るために立ち上げた組織。後のカーナレ富山誕生につながる調査活動などを行った。

# TSC、5周年を契機に組織・会員制度を大幅改革へ

2005年4月に活動を開始したTSCは今年5年目の節目を迎え、従来の組織および会員制度を大幅に刷新。職分の明確化と意思決定の迅速化を図るため、これまで理事・アドバイザーが横断的に担っていた業務を5つの部会に分け、それぞれにCAP(リーダー)と部会員を配置。新たに会長職を新設しました(池森新会長の巻頭インタビュー参照)。

部会員は従来の理事・アドバイザーおよびスクールコーチに加え、新設された「クラブマネジメントパートナー(CMP:従来の正会員)」の皆様に参加も呼びかけ、クラブ運営への参画意識を高く持っていただくことを目標に置いています。このことに関連し、総会における議決権は、新たにCMPとしてSILVER(年会費1万円)以上のカテゴリーに入会された方に付与することになりました。

スクール生、および保護者の皆様につきましては、総会議決権以外のサービス内容は保持したまま、チケット制(ビジター制)を導入し、利便性を図りました。一部コースでは月会費の改定を行い、一層のサービス向上を目指しています。

会員制度や組織図は右記も参照ください。

パートナー

ment Partner

費(円)	主な特典・やりがい	カテゴリー
000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会議決権</li> <li>・評議員会への参加</li> <li>・マネジメント企画、理事会、各部会へのオブザーバー参加</li> <li>・ホームページへの所属法人バナーリンク無料掲載(ご希望の場合)</li> <li>・国内外スポーツ視察ツアーのご案内と優先参加</li> <li>・TSCイベント、スポーツ観戦、ボランティア、パーティへの複数名招待</li> <li>・TSCスクール無料体験チケット3冊の進呈</li> <li>・TSCオリジナルシャツ2枚進呈</li> <li>　　・TSCマガジンの送付</li> <li>＊　・スポーツコミュニティ「クラブハウスとやまSNS」への無料招待</li> <li>　　・TSC会報郵送(年2～3回不定期)</li> </ul>	U12サッカーチーム
000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会議決権</li> <li>・国内外スポーツ視察ツアーのご案内と優先参加</li> <li>・TSC各部会での企画、運営</li> <li>・TSCイベント、ボランティア、パーティなどの企画、開催、参加</li> <li>・スポンサー向けパーティの企画、開催、参加</li> <li>・Jリーグなどスポーツ観戦ツアーの企画、開催、参加</li> <li>・TSCスクール無料体験チケット1冊の進呈</li> </ul>	デベロップメント
000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外スポーツ視察ツアーのご案内</li> <li>・TSCイベント、ボランティア、パーティなどのお知らせ</li> <li>・スポンサー向けパーティのお知らせ</li> <li>・Jリーグなどスポーツ観戦ツアーの先行お知らせ</li> <li>・TSCスクール無料体験チケット1冊の進呈</li> </ul>	ゴールキーパー
000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング、マネジメント研修の優先お知らせ</li> <li>・TSCイベント、ボランティア、パーティなどのお知らせ</li> <li>・スポンサー向けパーティのお知らせ</li> <li>・Jリーグなどスポーツ観戦ツアーの事前お知らせ</li> <li>・TSCスクール無料体験チケット1冊の進呈</li> <li>・Youth会員全体会ミーティングの開催</li> </ul>	パワーヨガ教室
000		●特典・サークル活動 知らせ ②U12サッカーチーム 「クラブハウス」進呈 ⑤TSCスクール 短大・専門学校 チケット購入回まで ※ビギナー料金

## ンバー（スクール会員）

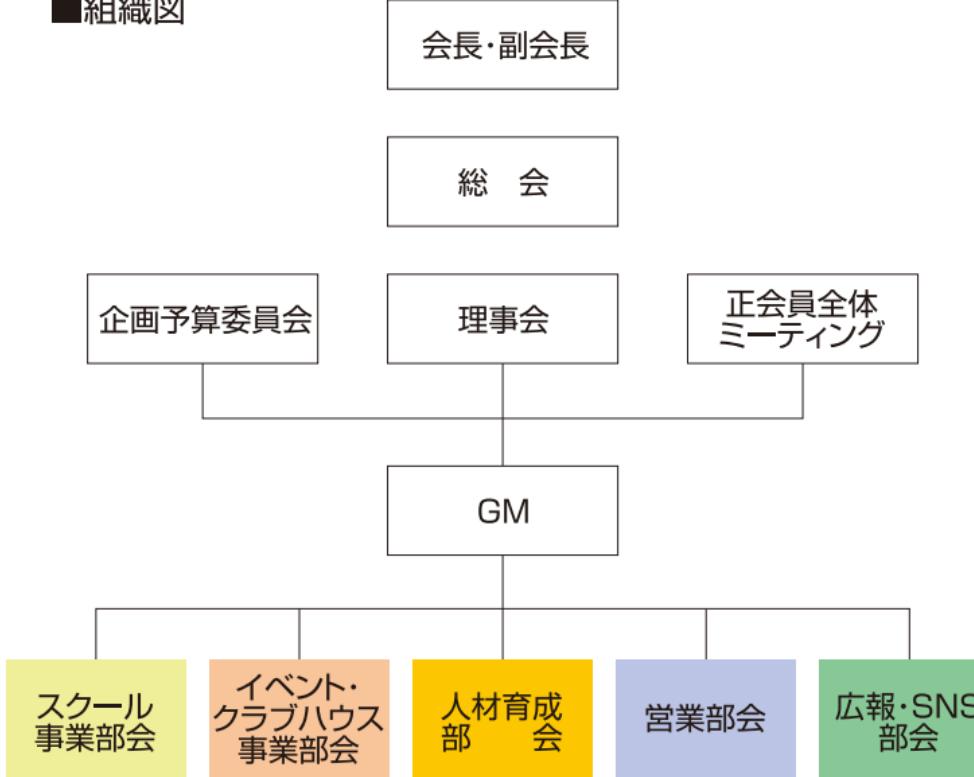
hip Member

会員登録				
	入会金	月払い	半年払い	一括年払い
人	10,000	4,000	22,800	43,200
人	10,000	6,000	34,200	64,800
人	10,000	2,000	11,400	21,600
	10,000	5,000	28,500	54,000
	5,000	3,000	17,000	32,000

ツ観戦ツアー や各クリニック、講習会などの先行回成長の記録をお知らせ ③スポーツコミュニティ料招待 ④TSCスクール無料体験チケット1冊(不定期)、TSCマガジンの送付 ⑥小学・中学・高校は冬期～春季(1月～6月)まで、会員資格のまま ⑦サービスチケット利用による無料体験は最大

ます

三



## Report

## 5周年記念講演

### 浦和レッズ前社長・藤口光紀さん講演

5月22日(土)、富山県民会館にてTSC総会が開催され、新会員制度の導入や部会システムによる組織改革などを審議しました(別記事参照)。

総会に引き続き、TSC 創立5周年・新会員制度スタート記念として、Jリーグ浦和レッズの前社長・藤口光紀さんの講演会が開催されました。

藤口さんは慶應義塾大学を卒業後、三菱重工業に入社し日本代表でも活躍。

経営者としても浦和レッズ社長として同クラブをJリーグ優勝、 AFCチャンピオンズリーグ優勝に導くなど輝かしい功績を収められました。2009年に浦和社長退任後はJFA参与、日本クラブユースサッカー連盟顧問などを務めるかたわら、スポーツコーディネーターとして多忙な日々を送られています。

この日、藤口さんは「夢に向かって～スタジアムを核にした街づくり～」と題して講演。

イギリンドやスイスなど欧州での事例をもとに、競技者のための

「競技場」でなく、観客のための「スタジアム」を形成することによって、住民達がスポーツ文化を体現させるための「住みよい家」を作ろうと訴えました。

浦和レッズと浦和市(さいたま市)の協力体制についても、Jリーグ草創期の駒場スタジアムの度重なる改修の経緯をはじめ、Jリーグ優勝パレード時の互いの信頼関係に基づいた感動的な事例などが紹介されました。

この日集まったTSC理事、パートナー、コーチ、メディア関係者など約40人を前に、藤口さんは熱い語り口でスポーツと社会の関係性、日本の芝の先進性などの見解を約1時間に渡って披露しました。

講演会の後、有志による懇親会が開催され、5周年からの新たな一步を踏み出したTSCの前途を語り合いました。



熱く語る藤口さん

## Report

## 『スポーツフェスティバル はじめよう! みんなのスポーツPartII』開催

岩瀬スポーツ公園サッカー・ラグビー場にて、10月16日(土)・17日(日)の両日、絶好の天気のもと『スポーツフェスティバル はじめよう! みんなのスポーツPartII』を開催しました。

昨年は小学生のサッカー教室とソフトボール教室を同日開催しましたが、今年は16日に親子サッカー教室(小学生とその保護者29名参加)、17日に中高生サッカー教室(19名参加)を行いました。10月1日(金)にはチューリップテレビ『ニュース6』の「みんなの告知板」コーナーにコーチらが生出演、緊張の表情を浮かべながらもイベントをPRしました。

以下、16日の親子サッカー教室の主担当を務めた鳥居将至コーチ(富山大学4年)の感想です。

今回イベント代表として、一つのイベント企画・運営は多くの方々の協力やお力添えがあって初めてできるものだということを痛感しました。チラシの作製や各学校への配布、TVでの告知、トレーニングメニューの考案、当日の運営のスケジューリングなど、経験がなくスムーズに進まないこともありましたが、そのなかでも多くの出会いがあり、助けを得ながらどうにか無事にイベントを終えることができました。これは社会に出てからも役立つと感じました。

今回は「スポーツを通したコミュニケーション」を目的として取り組みましたが、参加者の方々に少しでもみんなでスポーツをすることの

楽しさやスポーツを通して人と関わることの楽しさが伝わっていれば幸いです。

今後はサッカーに限らず、いろんなスポーツを通して年齢・性別問わず「人と人がつながる場」を提供できるよう活動していくべきだと思います。



10月16日  
親子サッカー教室



10月17日 中高生サッカー教室

## Report

## おやべSCに指導者派遣

6月5日(土)、12日(土)、10月23日(土)の3回にわたり、NPO法人おやべスポーツクラブに指導者を派遣。子供向けのサッカー指導を中心とした体間の交流を図りました。

6月5日はサッカースクールコーチ3名と、アシスタントコーチの富山大学女子学生3名を派遣。石動小学校グラウンドにて約20名の女子サッカー教室を指導しました。普段TSCで行っている、ゲーム形式を中心とした楽しいサッカーを目指した結果、小学校低学年から大人まで多様な年代の女性が参加する教室は、終始和やかな雰囲気に。最後には「小矢ドワーランドカップ」と題したミニゲームを行いました。

6月12日、10月23日にはおやべ文化センター内芝生広場にて、「わんぱくチャレンジ」と題した小学校低学年の遊び教室を指導。サッカーをツールとして思い切り外遊びをエンジョイできるよう心を配りました。すっかり打ち解けた子供たちと握手を交わしたコーチ陣は「誰とでも仲良くなろうとアクションを起こす子供たちに、大人たちも見習わないと」と語り、これからの指導に今回の経験を生かすよう決意を新たにしました。

今回の機会を作っていただいたおやべSCのご関係各位、参加された会員の皆様に、心より御礼を申し上げます。



6月5日の指導  
(於: 石動小学校グラウンド)

10月23日の指導  
(於: おやべ文化センター内芝生広場)

# クラブハウスパートナー

## ～新たな「スポーツ観戦お出かけ支援募金」のかたち～

このたびの会員制度改革の中に、新たに「クラブハウスパートナー（CHP）」が新設されました。耳慣れない言葉ですが、TSC が長期目標として掲げる欧洲型のクラブハウス保有の変形として、協賛いただく飲食店様を仮想のクラブハウスになぞらえます。CHP の飲食店様は、TSC のパーティーや飲食で優先的に使用させていただく他、「スポーツ観戦お出かけ支援募金」の募金缶を設置、定期的に回収することにより新たな募金の資金源となります。

スポーツ会場などでの募金活動には一定の限度があり、限られた人的資源の中で効率的に募金を集め、飲食店様および募金に協力されたお客様にも納得度の高い用途に利用させていただくことによって、スポーツと福祉の親和性をより高めていくことを狙っています。

11月現在、別掲の飲食店様がCHPとして参加されています。ご協力に感謝申し上げます。



すし居酒屋 大海 坂口様

### クラブハウスパートナー (11月30日現在)

#### 唄うおでん屋 茶文

富山市桜町1-4-15 TEL(076)431-3573

#### 酒と人情料理 だい人

富山市新富町2 丁目5-1 はまのやビル1F TEL(076)431-0122

#### おばんざい ながいん家

富山市新富町2-4-13 TEL(076)444-8715

#### 酒菜工房 だい

富山市内幸町2-14 内幸ビル2F TEL(076)441-2223

#### すし居酒屋 大海

富山市総曲輪3-3-11 TEL(076)425-0775

#### GLOBAL DINING TEN-KUU

富山市総曲輪2-8-6 8番街ビル1F TEL(076)493-6005

#### たまりBAR Paysley

富山市桜町1-2-4 クローバービル2F TEL(076)444-5515

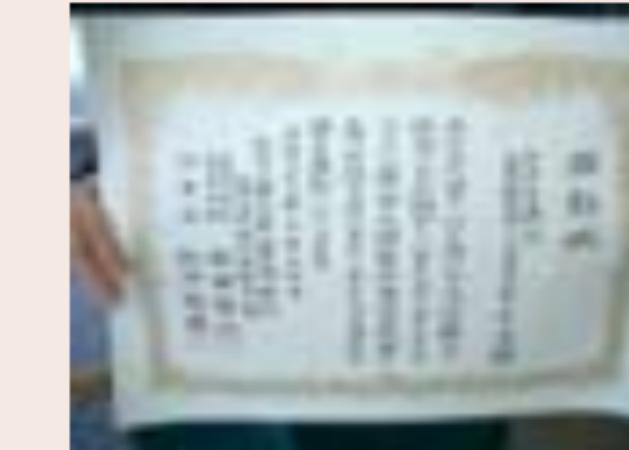
# 富山県善意銀行 より表彰

2月14日(日)、富山県教育文化会館で行われた『第46回親切・善行感謝の集い』にて、社団法人富山県善意銀行より顕彰状を授与されました。

この表彰はTSCと県共同募金会の協働事業『スポーツ観戦お出かけ支援募金』に対して授与されたものです。各種団体推薦の部・一般部門・単年団体の部16団体のひとつとして表彰を受けました。

本企画は2008年の開始以来、県内各地での募金をもとに福祉施設の方々をスポーツ会場にご招待しております。

TSCと県共同募金会は、今後も募金活動を継続し、一つでも多く「スポーツと社会福祉の接点」を造り出していきたいと考えています。このたびの表彰は、私たちの活動を勇気づけ、前途に自信を与えるまたとないきっかけになりました。賞を与えてくださった富山県善意銀行様、今回の表彰推薦をいただいた八尾園様、事業パートナーの富山県共同募金会様、暖かい善意を寄せてくださる皆様をはじめ、全ての関係者各位に厚く御礼申し上げます。



富山県善意銀行からの表彰状

# TSC DIARY

(掲載記事以外の主な出来事)

## 2009

- ・10月4日 カターレ富山公式戦に『がんの子供を守る会富山支部』ご招待
- ・10月12日 岩瀬スポーツ公園にて『スポーツフェスティバル ～はじめよう!みんなのスポーツ～』開催
- ・同日 イオンモール高岡 富山プロスポーツフェスタを企画協力
- ・10月17日 Jリーグ観戦ツアー(新潟ー浦和)
- ・10月18日 カターレ富山公式戦に『八尾園』ご招待
- ・11月7日・8日 富山大学スマイルフェスティバルに参加

## 2010

- ・2月21日 富山グラウジーズ公式戦に『むつみの里』ご招待
- ・4月 すばまぐ@富山をCLUB HOUSE とやまSNS に改称
- ・7月18日 富山サンダーバーズ『おもしろ観戦ナビゲーション』に協力
- ・7月19日 「夏休みはスポーツ!友達誘ってサッカーしよう!」開催
- ・9月19日 富山サンダーバーズ公式戦に『野積園』ご招待
- ・9月23日 カターレ富山公式戦に『がんの子供を守る会富山支部』ご招待
- ・10月2日 富山駅頭にて「スポーツ観戦お出かけ支援募金」実施
- ・10月24日 カターレ富山戦にて「スポーツ観戦お出かけ支援募金」実施



NPO法人富山スポーツコミュニケーションズ

# TOPICS

## トピックス

# 北陸中日新聞 『NPO通信』にて連載

10月5日より、北陸中日新聞富山版『NPO通信』のコーナーで、TSCが団体の紹介を10回にわたり連載しました。TSC創立に至った佐伯理事長の回顧、スクールや諸活動の紹介、池森新会長の抱負など、TSCの過去・現在・未来が語られています。

<http://www.chunichi.co.jp/article/toyama/toku/npo/>  
でも一定期間ご覧になります。

## 編集後記

前号vol.7の発行から1年が経過しました。年3回の発行を目標しながら果たすことができず、関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。節目の5周年、新たな体制のもとにTSCは次の5年に向けてのスタートを切っています。W杯サッカー南アフリカ大会の熱狂を記憶に刻みつけた2010年は、あらためてスポーツの影響力や社会性を認識し直す年でもありました。2011年もスポーツでたくさんの感動を味わい、たくさんの人々と喜びを分かち合いたいと願っています。

Vol.8 発行日：2010年12月1日  
【発行日】 年3回  
【発行】 NPO法人富山スポーツコミュニケーションズ  
【発行人】 佐伯仁史

クラブライフが心とからだと暮らしを変える